

# 令和4年度 第1回和泉市教育委員会評価委員会

日時 令和4年5月19日(木) 午前10時00分～

場所 和泉市役所3階 庁議室

## 次 第

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 評価委員紹介
4. 職員紹介
5. 委員長選出
6. スケジュール確認
7. 教育・こども部ヒアリング
  - (1) こども未来室
  - (2) 学校園管理室
  - (3) 教育総務課
  - (4) 学校教育室

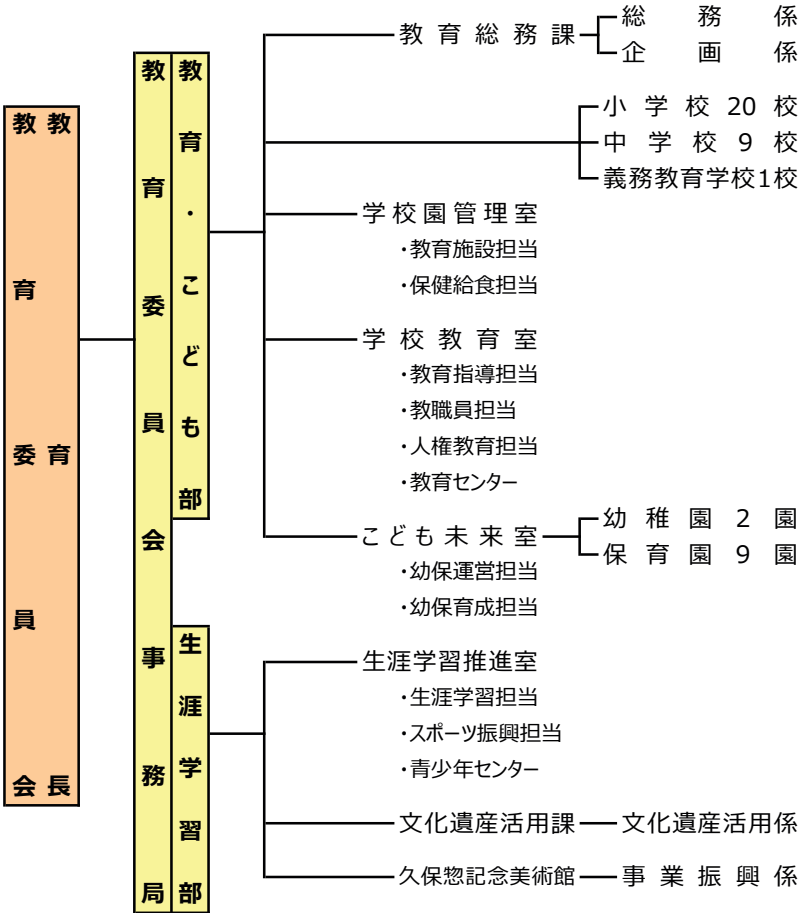
令和 4 年度（令和 3 年度事業対象）  
和泉市教育委員会の点検・評価のスケジュール

	教育委員会	事務局	評価委員会
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">5月</div> 19日(木)		<ul style="list-style-type: none"> <li>○前年度の点検・評価に対する意見の精査</li> <li>○3年度事業の評価方法の検討</li> <li>○点検・評価の素案の作成</li> </ul>	<u>第1回評価委員会</u> <u>評価委員による</u> <u>個別ヒアリング</u> (教育・こども部)
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">7月</div> 7日(木)		<ul style="list-style-type: none"> <li>○点検・評価シートの説明</li> </ul>	<u>第2回評価委員会</u> <u>評価委員による</u> <u>個別ヒアリング</u> (生涯学習部)
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">8月</div> 8日(月)		<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員の意見調整</li> </ul>	<u>第3回評価委員会</u> (点検・評価報告書(案)の決定)
25日(木)	<u>教育委員会第8回定例会</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○点検・評価報告書(案)議案提出</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">9月</div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○議会に報告・公表</li> </ul>	

資料 2

(令和4年4月1日現在)

教育委員会機構図



## 取組項目説明順序

説明順	取組項目	時間目安
1 こども未来室 学校園管理室	1	10:10～10:15
2 こども未来室	2 6	10:15～10:20
3 こども未来室 学校園管理室	2	10:20～10:25
4 こども未来室	3	10:25～10:30
5 学校園管理室	1 3. 1 4	10:30～10:45
6 学校園管理室	1 5	10:45～10:55
7 教育総務課 学校園管理室	1 6	10:55～11:00
職員入れ替え		
8 学校教育室	5	11:00～11:05
9 学校教育室	7	11:05～11:10
10 学校教育室	6. 9. 1 0	11:10～11:30
11 学校教育室	4. 8. 1 1. 1 2	11:30～12:00

取組項目番号	事業名	事前質問(原文まま)	回答
1	公立保育所・公立幼稚園の運営	【平良委員】スタートカリキュラムの具体例	【こども未来室(幼保育成担当)】 ・園での経験や学びを生かす声かけを意識的にする。 ・楽しみや発見のコーナーを作り、園での自由遊びを朝の時間に取り入れる。 ・迷路や点つなぎ、数に関する遊び等、園での活動を小学校での学びに取り入れる。
		【杉田委員】コロナ禍という苦しい状況のなか、多くの事業を工夫しながら実施できたとのこと。そのなかで⑥、⑱、㉑ができなかった背景、理由についてお尋ねしたい(オンライン実施等は難しかったのか)。	【こども未来室(幼保育成担当)】 ・保育園・幼稚園にWi-Fi環境が整っておらず、ZOOMでの交流等はできなかった。 ・交流については、活動を一緒にする事に意義があるのでオンラインでは十分な効果を得られないと考えている。
2	公立保育所・公立幼稚園の施設維持管理	【平良委員】公立保育所・幼稚園の統廃合計画(現時点)	【こども未来室(幼保運営担当)】 最終的に、認定こども園3園に再編整備する計画。整備等の時期が定まっているものは、以下の通り。 ・芦部保育園：令和8年度を目途に移転民営化 ・和泉保育園、国府幼稚園：令和9年度を目途に移転統合、認定こども園とする予定 ・鶴山台第一保育園：令和8年4月1日廃園予定
		【平良委員】園の現場の意見・要望	【こども未来室(幼保育成担当)】 ・長年、教育・保育が行われてきた園が再編整備されることを残念に思う。 ・幼稚園と保育園が統合し認定こども園になることでお互いに学びあう利点もあるが保育観のすり合わせや勤務形態等不安もある。
			【学校園管理室(教育施設担当)】 予算要求の際から必要物品等の要望を把握し、これに基づき要求を行い、物品等の調達した後は、落札差金等を利用し、更なる購入希望を各園から聴取し、要望に沿った調達を行えたことにより、園現場からは喜んでいただいている。

2	公立保育所・公立幼稚園の施設維持管理	【杉田委員】和泉保育園と国府幼稚園の移転統合・認定こども園化について説明会を実施したとのこと。保護者や地元住民対応で大きな課題等はない（説明会等で懸念点や強い反対意見等は出されなかった）という理解でよいか。（確認）	【こども未来室（幼保運営担当）】 通園距離が遠くなること等を懸念する意見はあったが、移転統合・認定こども園化という方向性についてはご理解いただいたものと考えている。
3	民間園への支援と連携	【平良委員】校区別待機児童数と就学前児童数の将来推計	【こども未来室（幼保運営担当）】 ・待機児童数は市を4つの区域に分けて集計している。 （令和4年度） 北部 0人 北西部 0人 中部 16人 南部 0人 ・就学前児童数の将来推計 令和5年 8,072人 令和6年 7,946人 令和7年 7,731人
		【杉田委員】待機児童の解消について、数値的根拠があれば記入してはどうか（R2.〇人→R3.〇人とか）。（修正案）	【こども未来室（幼保運営担当）】 『追加文』 （令和2年 51人→令和3年 15人）
4	小中一貫教育	【平良委員】効果検証の方法	【学校教育室（教育指導担当）】 学力、体力など9年間を通じて測ることができる数値を効果検証の指標として活用できると考えている。また、中学校1年生の不登校者数についても、小学校から中学校への接続の観点から重要な指標となると考えている。
		【杉田委員】「今後の課題等」の欄で研修や会議等のオンライン開催の検討に言及されているが、その効果的な実施のためにどのようなことが考えられるか（あるいは、対面開催が望ましいのか）。	【学校教育室（教育指導担当）】 内容により集合開催が良いものとオンラインや文書で開催できるものがあるが、どのような形態であっても継続して地域と学校がつながることが重要と考える。課題として、オンラインの開催方法や操作方法の周知、関係者の機器の有無等が考えられる。

5	学力向上をめざした授業づくり	<p>【平良委員】「数値等から見えた課題」の具体的内容</p>	<p>【学校教育室(教育センター)】 各学校の課題の具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふりかえりの時間の確保ができていない。学年によって振り返り活動にばらつきがある。</li> <li>・高学年になるにつれて自主学習に取り組めていない児童数が増加している。</li> <li>・自分の考えを発表する活動を積極的に取り入れている学年によって差異が出ている。</li> <li>・「話し合い」や「考える」場面の設定をしながら、効果的にタブレットを活用した授業を定着させていく必要がある。</li> <li>・生徒に自分の意見を発表させたり相手に伝える工夫を考えさせる取組みが弱い。</li> <li>・読書の機会が減りそれに伴い、読書への意欲も低下していることが考えられる。</li> </ul>
		<p>【杉田委員】R2年度における課題等にある児童生徒の情報活用能力を高めるための授業づくりは今年度で解消、ないしは解消の見通しが立ったという理解でよいか。(確認)</p>	<p>【学校教育室(教育センター)】 令和2年度末に1人1台学習用PCが導入され、令和3年度に授業での活用が本格的に行われるようになった。学習用PCの活用研修を学校内外で実施することにより、情報活用能力を高める授業づくりが前進した。</p>
		<p>【川口委員】決算見込額288百万円のうち、市費非常勤講師(週16時間)に相当な予算が充当されているのではないかと推察しご質問致します。「特に効果のあった取組とその効果の内容」には、非常勤講師の活用効果が具体的に示されていないと思います。特に効果がなかったから示されていないという理解でよろしいですか？</p>	<p>【学校教育室(教育センター)】 市費非常勤講師(週16時間)の決算見込額は、約8百万円。効果については、令和3年度の全体的な事業評価に記載のとおりで、配置の5校において、算数におけるわかる授業づくりの推進が図られ効果があったととらえている。</p>

6	英語教育・読書教育	【杉田委員】R2年度における課題等の児童の読解力や情報活用能力の育成がそのまま持ち越されているが、この課題については今年度の事業における（目に見える・具体的に書けるような）成果はないという理解でよいか。（確認）	【学校教育室(人権教育担当)】 全国学力・学習状況調査における読解力や情報活用能力に関する質問の回答では全国平均を上回るものも複数あるが、下回っているものも多く、今後も向上を図る必要があるため継続して記載している。
7	教職員の資質向上	【平良委員】現在のスクールサポートスタッフの人材確保の方法	【学校教育室(教職員担当)】 ・広報紙の活用 ・本市スクールサポートスタッフ登録者への直接的な依頼 ・学校関係者による広報活動
		【杉田委員】和泉市夏季・冬季一括募集研修（C研修……の文章がわかりにくい。（修正提案）	【学校教育室(教職員担当)】 『修正文』 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、和泉市夏季・冬季一括募集研修を実施できなかった。
		【川口委員】スクールサポートスタッフ配置モデル校では、業務量軽減や時間外勤務縮減の効果があったようですが、スクールサポートスタッフは具体的にどのような取組をされましたか？また、これらのモデル校の実践成果をもとに、令和4年度は実践成果の普及をどのように図りますか？	【学校教育室(教職員担当)】 スクールサポートスタッフの具体的な取組みとしては、印刷(学校・学級だより・宿題プリント等)や理科実験器具の準備・整理、児童の作品の掲示、学校行事の準備・後片付けといった教員の事務的業務の軽減を図っている。 実践成果の普及については、月1回開催される校長会・教頭会で業務量軽減や時間外勤務縮減の効果について報告し普及に努める。
【川口委員】大阪府下では、ほとんどの市町村教育委員会において指導主事の先生方の超過勤務が常態化しているのではないかと推察のもとにご質問致します。「令和3年度の主な取組内容」で示されているように「教員の事務作業の負担を軽減し、子どもにとって質の高い和泉の学校教育体制の更なる構築」を図るためには、指導助言する立場にある指導主事の先生方の負担軽減や時間外勤務の縮減が図られる必要があると考えます。指導主事の先生方の働き方改革の進捗をお聞かせください。	【学校教育室(教職員担当)】 指導主事の負担軽減や時間外勤務の縮減については、思うように進んでいないのが現状である。 しかしながら、月ごとの時間外勤務時間を各自で把握し「超過の理由」を明確にしたうえで削減に向けた対策を講じたり、毎週月曜日に指導主事ミーティングを設定し、業務改善・効率化を図るための情報共有等を行い、少しでも指導主事の働き方改革が進むよう努めている。		



8	生徒指導・教育相談体制の充実	【平良委員】令和3年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の和泉市集計結果	【学校教育室(教育指導担当)】 ・暴力行為(小学校7件、中学校14件) ・いじめ(千人率：小学校72.2件、中学校66.6件) ・不登校(千人率：小学校17.4人、中学校54.8人)
		【杉田委員】R2年度における課題等にある不登校者数の今年度の数値があれば、事業評価の記述等に取り入れてはどうか。(修正提案)	【学校教育室(教育指導担当)】 『修正文』 コロナ罹患や濃厚接触、不安をきっかけに欠席が継続するなどの要因により、不登校者数の増加傾向が継続(※千人率：小学校 令和2年度12.7人→令和3年度17.4人、中学校 令和2年度44.9人→令和3年度54.8人)にあり、丁寧な家庭連絡とともに、個別状況に合わせた支援を行った。
		【川口委員】和泉市適応教室指導員(校長等OB等)による教育相談等の実施件数が明示されていません。一方で、電話・来室によるカウンセリング相談の回数(35回)は示されています。指導員による教育相談等の件数は、この35回の中に含まれているのですか。それとも外数ですか。	【学校教育室(教育指導担当)】 和泉市適応指導教室指導員が行っている電話・来室による相談等の全実施回数は66回で、記載の35回は、そのうち不登校に関わる内容の回数となる。
		【川口委員】「特に効果のあった取組とその効果の内容」の中に、決算見込額27百万円を支出した取組は含まれていますか？SSWは府費負担の専門家という認識があります。ここで示されているSSWの取組は、市費負担のSSWですか？	【学校教育室(教育指導担当)】 SSWは全額市費負担となっており、決算見込み額のうち9,400,000円がチーフSSW・SSWの報償費となる。令和3年度は5名のSSWが配置と派遣により学校の支援にあたった。
9	道徳教育	【杉田委員】R2年度における課題等のICTの活用がそのまま持ち越されているが、当該事業においてICTの活用の検討・実現を進める困難が大きいのか。	【学校教育室(人権教育担当)】 1人1台学習用端末が本格的に活用されて1年が経過し、本事業に関わらず、ICTの活用については進んでいるところだが、さらなる活用拡大のため記載している。

10	人権を尊重した教育	<p>【平良委員】和泉市における日本語指導が必要な児童生徒や外国人児童生徒の国籍別人数</p>	<p>【学校教育室(人権教育担当)】 日本語指導が必要な児童生徒 58人(R3) ※国籍別(中国16人、日本14人、パキスタン8人、ベトナム7人、ペルー3人、フィリピン3人、その他5か国7人) 外国籍児童生徒数 90人(R3) ※国籍別(中国34人、韓国12人、ベトナム9人、パキスタン8人、フィリピン7人、ペルー4人、ブラジル4人、アフガニスタン3人、ナイジェリア3人、その他4か国6人)</p>
		<p>【杉田委員】R2年度における課題等で「支援が必要な児童生徒が増加」が指摘されているが、医療的ケア以外の支援の必要な児童の増加への対応については、うまくいっているという理解でよいか。(確認)</p>	<p>【学校教育室(人権教育担当)】 支援が必要な児童生徒が増加し、支援学級も増加しているが、新たな支援学級担任や支援教育コーディネータに対して、研修を実施したり、学校に専門家を派遣してコンサルテーションを行う等に対応している。</p>
11	我が町における子どもの育成	<p>【杉田委員】令和3年度の全体的な事業評価のなかに「昨年度に引き続き、つながりをもちにくい年であった」という記述があるが昨年度と比較しての評価など、具体的に書けることがあれば追記してはどうか。(修正提案)</p>	<p>【学校教育室(教育指導担当)】 『修正文』 昨年度に引き続き、つながりがもちにくい年ではあったものの、規模を縮小する形で地域のイベントを実施できた校区は令和2年度に引き続き1中学校区あり、加えて2中学校区で「コロナ収束祈念打ち上げ花火」として開催方法を変更し実施するなど、コロナ禍でも工夫して、地域教育協議会を中心に取組みを続けることができた。</p>

12	健康教育・体力向上	【平良委員】「民間施設を活用した水泳授業のモデル実施」や「学校水泳授業屋内プール活用モデル事業」は健康教育・体力向上とどのように結びつのか。	【学校教育室(教育指導担当)】 民間施設等の屋内プールを活用することで、季節や天候の影響を受けずに快適な環境でより専門的な指導を計画的に行えることは健康教育の推進や、体力向上に寄与するものと考えている。
		【杉田委員】ICTを活用した体育授業の検討(R2年度における課題等にあり、今年度は中止とある)は、「今後の課題等」に持ち越す必要はないのか。(確認)	【学校教育室(教育指導担当)】 1人1台学習用端末の配備により、体育の授業においても動画を活用した視覚支援や、児童生徒がお互いに動作を撮影しての振り返りなど、好事例の収集や活用方法の研究等を研修を通じて進めていく必要があると考える。
13	食育及び学校給食	【杉田委員】R2年度における課題等の給食室のドライ化改修工事の実施がそのまま持ち越されているが、今年度の事業における実績はないという理解でよいか。(確認)	【学校園管理室(保健給食担当)】 令和3年度に給食室のドライ化改修は実施していない。 他の大規模改修事業等との調整を図りながら、中長期的に取り組んでいく。
14	学校保健の充実	【杉田委員】歯科検診の受診率について、数値的根拠があれば記入してはどうか(R2.0%→R3.0%とか)。(修正提案)	【学校園管理室(保健給食担当)】 受診率を追記いたします。 『修正文』 ・新型コロナウイルス感染症拡大により、医療機関への受診を控える動きもある中、歯科検診について、全児童生徒の保護者あてに歯の疾患等に関する啓発資料を配付することで受診率向上に繋がるよう努めたが、令和2年度と比較して微減した。(R2年度46.3%→R3年度45.2%)

15	教材の充実・管理経費の適正化	<p>【杉田委員】R2年度における課題等に再生資源売払収入に関するものがあり、その実現はできなかったようだが、この課題を「今後の課題等」に持ち越す必要はないのか。（確認）</p>	<p>【学校園管理室(教育施設担当)】 平成30年度までは、入札により決定した業者へ学校から排出される古紙、缶、ビン等を引き取りした際の売払収入について、分別努力を行った学校へ順位付けをし、各学校へ配当を行い、排出の際の分別の意識の徹底を行わせるため取り組んできたが、社会(世界)情勢の変化により、売却できる業者が決定できないため、現在でも取り組みができない状況。令和3年度の事業評価では取り組むことができず、引き続き検討が必要なため、委員のご指摘のとおり、「今後の課題等」に加筆修正を行う。</p>
		<p>【杉田委員】適正利用に基づく光熱水費の縮減について、数値的根拠があれば記入してはどうか(R2.〇円→R3.〇円とか)。(修正提案)</p>	<p>【学校園管理室(教育施設担当)】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による休校等により光熱水費が大きく減少していることから、単純比較できないところがあり、決算比較では令和3年度の方が大きく増加している形になっている。 令和3年度は、予算要求ベースにおいて、適正利用に基づく光熱水費の縮減分を備品購入費に振り替えることで備品購入を行えたもの。</p>
16	小中学校の施設維持管理	<p>【杉田委員】R2年度における課題等が今年度の「今後の課題等」に持ち越されている印象を受けるが、検討すべき事項の長期的な見通しにおいて前進は見られるという理解でよいのか。（確認）</p>	<p>【学校園管理室(教育施設担当)】 ご指摘のとおり、空調設備に関しては、関係課と協議を行うなど検討を進めており、また、35人学級化に向けた施設整備については、令和4年度において黒鳥小学校の教室間仕切り工事や南松尾はつが野学園の増築にかかる設計予算を確保するなど、前進はしている。</p>

26	放課後等の児童の健全育成	【平良委員】留守家庭児童会におけるトラブルの内容（公開できる範囲で結構です）	<p>【こども未来室(幼保育成担当)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室内で静かに過ごすことができない低学年の児童がいるため、高学年の児童が落ち着いて宿題をすることができない。</li> <li>・支援の必要な児童が、教室を飛び出してしまうたり、他の児童に対し危険な行為に及ぶことがある。</li> <li>・高学年の児童の言動を怖がり、低学年の児童が教室に入れない。</li> </ul> <p>支援・配慮の必要な児童がいるクラスには、必要に応じ支援員を加配し、トラブルを未然に防ぐよう努めている。</p>
		【杉田委員】留守家庭児童会の待機児童はゼロという理解でよいか。（確認）	<p>【こども未来室(幼保育成担当)】</p> <p>申込児童数がクラス定員を超える場合であっても、実際の利用児童数を考慮しながら可能な限り受け入れを行っているため、待機児童は発生していない。</p>